

No. 375 平成30年8月20日発行

# よっかいち 市議会だより

## 6月定例月議会号



平成30年6月定例月議会の議会報告会の様子

6月  
定例月議会

平成30年度一般会計、企業会計補正予算案や市税条例等の一部改正についてなどを可決

### 目次

- ◎6月定例月議会の概要、日程…………… 2ページ
- ◎議案の議決結果、賛否一覧、討論など…………… 2～4ページ
- ◎委員会審査の概要、予算常任委員会全体会審査の概要、  
予算常任委員会分科会審査の概要…………… 4～6ページ
- ◎一般質問、一般質問をした議員と項目…………… 7～14ページ
- ◎議案に対する意見について、8月定例月議会の議会報告会の予定…………… 15ページ
- ◎2月定例月議会の議会報告会の概要…………… 16～17ページ
- ◎人事案件、意見書、市議会モニター委嘱式・研修会、  
8月定例月議会の予定など…………… 18ページ



## ●●● 6月定例月議会の概要 ●●●

四日市市議会の平成30年6月定例月議会の議会期間は、6月11日から7月4日までの24日間でした。

6月定例月議会では、平成30年度 一般会計補正予算案や、市税条例等の一部改正についてなど、市長から提案された17議案を審議し、原案のとおり可決、同意しました。

平成30年度市下水道事業会計第2回補正予算案については、今回の再入札を行うことによって浜田通り貯留管の完成が延長される期間内に、地元住民に水害被害が発生した場合は、当該事業を所管する上下水道局が当該被害を補填すること、また、浜田通り貯留管築造工事の円滑な進行を図ることとする附帯決議を付すという提案が議員からありましたが、賛成少数で否決されました。

また、議員提出議案については、障害を理由とする差別の解消を推進する条例の制定について、旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書の提出についての2件を原案のとおり可決しました。

### 6月定例月議会の日程

- 6月11日(月) 初日(報告、議案説明)
  - 15日(金) 一般質問
  - 18日(月) 一般質問
  - 19日(火) 一般質問
  - 20日(水) 一般質問
  - 21日(木) 一般質問、質疑、委員会付託
  - 22日(金) 各常任委員会／予算常任委員会分科会  
(総務、教育民生、産業生活、都市・環境)
  - 28日(木) 予算常任委員会全体会
  - 29日(金) 予算常任委員会全体会
  - 7月 4日(水) 最終日(委員長報告、質疑、討論、採決、追加議案説明、質疑、討論、採決)
- 
- 7月 5日(木) 議会報告会(総務、産業生活)
  - 9日(月) 議会報告会(教育民生、都市・環境)

### 議案の議決結果

市長提出議案	議案名	議決結果	
議案第8号	平成30年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決	全員
議案第9号	平成30年度下水道事業会計第2回補正予算	原案可決	賛成多数



## 用語解説

**【討論】** 採決の前に議題となっている案件に対し、自己の賛否の意見を表明するとともに、意見の異なる議員に、自己の意見に賛同するよう求める発言

### 議案第9号 討論(反対)

本議案は、入札資格がある者が入札に参加をし、落札をした。その落札を取り消すのは、本市の入札制度を冒濫することになる。工事を心待ちにしていた当該地区住民は大変気落ちしており、再入札には費用も余分にかかり、本市の利益にもならない。市長には何か利益が生じるのか。本件取り消しは、リニア談合業者の排除を謳うが、逆にすべてのリニア談合業者が今回の入札に参加できる矛盾が生じており、不利益が生じるのは市と住民である。本議案に反対する。  
(小川政人議員)

### 議案第9号 討論(賛成)

浜田通り貯留管工事の落札者との契約を保留し、結果的に落札を取り消したことについて、契約保留を決定した時点では、落札者が談合に参与した可能性が高いと報道されている状況であり、そのような中で契約を締結することは市民の理解を得られなかったと考える。今回の決定は、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の趣旨を尊重し、談合その他の不正行為の排除を徹底すべく、適正に処理されたものであり、市民の期待に応える手続きであったと判断するため、当議案に賛成する。  
(豊田政典議員)

### 議案第18号 討論(反対)

本件は、来年4月に四日市市勤労者・市民交流センター北館が教育委員会へと移管される際、登校サポートセンターに名称変更するものである。憲法の教育を受ける権利の根幹をなす学習権の保障の実現のため、一個の人間や市民としての人格形成に大きな影響を与える当該施設は必要不可欠なものであり、不登校対策として機能強化を図ることに何ら反対するものではない。しかし、その名称については、利用する子どもたちの立場に立ち、慎重に検討すべきと考え、時間的余裕も十分にあることから反対する。  
(中森慎二議員)

### 議案第24号 討論(反対)

教育長に必要なのは、子どもたちのために最善の方法で教育行政を進めることである。教育委員会の会議録では、朝明中学校の配置の問題は解決されていないと述べられており、委員の方々は、朝明中学校の課題が解決したと思っていないことが良く分かる。教育委員の意見をまとめて、教育長が市長と対峙して活発な議論をして、政策決定していくべきと思っている。朝明中学校の課題解決の中で「最善の施策は市長が反対するため、次善の策を進める。」その言葉は教育長として物足りないと考え反対する。  
(小川政人議員)

## 委員会審査の概要

常任委員会における条例の一部改正や契約を締結しようとする議案などについての審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

### 総務常任委員会

◆ 市税条例等の一部改正について、委員からは、平成28年度税制改正における償却資産に係る固定資産税の特例措置の創設に当たっては、国への要望の結果、本市の財政への大きな影響はないものと考えてよいかとの質疑があり、担当部局からは、これまでの要望活動の成果もあり、今回の特例措置の対象者については、中小事業者等に限定され、さらに大企業の子会社を除くこととされており、ピーク時で約9500万円の税収減にとどめることができるものと考えているとの回答がありました。これに対して委員からは経済や事業活動の活性化の観点からは、事業者に対する税制上の優遇も重要であるが、国の施策に追随するだけでなく、市として増収に結びつく施策についても考えるべきであるとの意見がありました。

### 教育民生常任委員会

◆ 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、委員からは、放課後児童支援員も含め学童保育所指導員の資質向上に向け市としてどのような支援を行っているのかとの質疑があり、担当部局からは、外部講師を招へいし、支援員も含めたすべての指導員を対象に研修を行っているとの回答がありました。これを受け委員からは、放課後児童支援員の対象拡大により、さらにニーズが高まると考えるため、資質向上や相談体制の一層の充実を図ってほしいとの意見がありました。

### 産業生活常任委員会

◆ 市勤労者・市民交流センターの付設のテニスコートについて、委員からは、今まで商工農水部が所管していた理由および国体事業に伴う中央緑地公園施設の再

編や霞ヶ浦テニスコートの整備との関連性について質疑があり、担当部局からは、旧勤労者総合福祉センター等を整備した際に所在地にあったコートに移設したことに伴い、それ以降併せて管理してきたこと、国体に向けて中央緑地公園施設を全体的に再編する必要性から、本来の所管である都市整備部に返還するよう要請があり、かつ、霞ヶ浦テニスコートの整備等により利用者の利用環境を担保できると判断するところから、今回のテニスコート用地を返還するものであると回答がありました。さらに委員からは、商工農水部として同センター北館の移管及びテニスコートの返還を是とした理由について質疑があり、担当部局からは、北館の貸館部分はこれまでも適応指導教室として利用されている都合上、利用されないときは施錠されており、貸館利用時にその都度開錠しなければならず、施設管理上効率が悪いこと、本館及び東館において既存の貸館ニーズに十分対応できることから、今回の移管及び返還はやむを得ないものと判断したとの回答がありました。これを受けて委員からは、長年にわたり北館の貸館事業を継続していることから、商工農水部として事業の総括を行う必要があるのではないかと意見がありました。

## 都市・環境常任委員会

- ◆ あすなろう鉄道の動産取得および製造請負契約の締結について、委員からは、車両への床窓設置の費用対効果に係る質疑があり、担当部局からは、先般のあすなろう鉄道DVDの先行予約状況を見ても市外からの申し込みが4割を占めるなど、あすなろう鉄道に対して、市民以外の関心も高いことがうかがえる。このため、車両への床窓設置についてもニュースソースとして活用し、床窓設置に係る650万円の投資額に見合う利用者増につなげていきたいと考えているとの答弁がありました。これを受けて委員からは、あすなろう鉄道DVDの予約状況について質疑があり、担当部局からは予約開始後4日間で初回限定盤の予定枚数150枚に達し、予約受付を終了したとの回答がありました。また、委員からは、今回廃車となるT車・122号車について、保存・展示に回すことはできないのかとの質疑があり、担当部局からは、当該車両について、部品類については再利用することとしており、台車部分のみを保存することとしたいとの回答がありました。これを受けて委員からは、今定例月議会における意見募集において、当議案については、税を投入することに関して厳しい意見もあるが、あすなろう鉄道が市民のための鉄道として役立つよう、引き続きさまざまな努力をしてほしいとの意見がありました。

## 予算常任委員会 審査の概要

予算の審査については、総務、教育民生、産業生活、都市・環境の各分科会で、おのおのの所管に属する予算について詳細な審査を行った後に、予算常任委員会の全体会において各分科会からそれぞれの審査の経過と結果の報告を行い、必要な事項については全体会で審査しました。全体会および分科会における主な意見等の概要をお知らせします。

## 予算常任委員会全体会

- ◆ 認定こども園整備事業費（神前地区関係部分・基本設計業務委託）について委員からは、今定例月議会の議案に対する意見募集において、17件もの当事業に対する否定的な意見が寄せられているが、市としてどのように受け止めているのかとの質疑があり、担当部局からは、神前地区幼保統合検討委員会における議論を通じて認定こども園化への方向性について一定の理解をいただいたと考えているが、今回出された市民意見については、説明において丁寧さに欠ける部分もあったと感じており、今後においては丁寧な説明に努めていきたいとの回答がありました。これに対し委員からは、当事業の実施に向けて地域の理解を求めると当たり、当初市からは、全市的に認定こども園化を進めていく計画であり、また、園舎等についても改修は実施せず、現状の環境から大幅な変化は生じないとの説明があったと記憶しているが、検討委員会において検討

いただく中で内容に変化が生じたように感じる。保護者の中には、工事期間中の園児への負担を懸念する声もあると聞くと、検討委員会、連合自治会、保護者など、地域において現在の状況を丁寧に説明する中で、多様な意見を出しあい、合意形成を図ることが必要ではないかとの意見がありました。これを受けて担当部局からは、認定こども園化については、当初議会で説明した内容をもとに地域でも理解を求めてきた経緯があるが、今回の市民意見が出されたことなどからも、誤解を生じないように、より丁寧な説明をすべきであったと感じている。予算が認められた場合、基本設計を行うことになるが、基本設計においては、地域の意見を踏まえる中で業務を進めていきたいとの回答がありました。

- ◆ 管渠布設費（浜田通り貯留管築造工事）について委員からは、本市には契約の保留について明文化された

規定がないにも関わらず、本事業をリニア中央新幹線の工事を巡る談合事件に関与した企業による落札が決定したのち契約を保留とした理由を確認したいとの質疑があり、担当部局からは、談合に関係している企業から逮捕者が出ていること及び落札者の代表構成員が談合を認め課徴金減免制度を通じて自主申告していると複数の報道機関が報じている状況から、契約の相手方として適切かどうかの判断をするため、契約を保留にしたとの答弁がありました。これに対して委員からは、リニア中央新幹線の工事を巡る談合の報道があった時点で本事業の工期に遅れが生じないように関係する4社に対して入札辞退を促すべきではなかったのかとの質疑があり、担当部局からは、4社のうち2社はすでに逮捕者が出ていることにより、入札参加資格停止基準に該当したため、資格停止を決定したが、残る

2社については課徴金減免制度を通じて自主申告をしている状況であり、直ちに入札参加資格停止基準に該当しなかったため、捜査の進捗状況を見守る必要があったとの回答がありました。これに対して委員からは、入札参加資格を認めていた企業に対して落札決定後に契約を保留しているが、本来であれば、契約保留条項を入札開始前に整備して入札参加資格を停止すべきではないのかとの質疑があり、担当部局からは、契約保留条項については、事前に公告する必要があるが、リニア中央新幹線の工事を巡る談合の報道があったものの、逮捕者がでていない状況下においては、本事業における契約保留条項を規定することはできなかった。そして、落札企業と契約締結することの妥当性について捜査の進捗を見極める必要があると判断し、契約を保留したとの回答がありました。

## 予算常任委員会分科会

### 総務分科会

- ◆ 下水道企業会計負担金について、委員からは浜田通り貯留管築造工事において、落札者が独占禁止法違反の疑いがあったことから契約を保留し、その後落札決定を取り消したことにより、再入札が必要となっているが、落札後の契約保留という事例は聞いたことがなく、行政の行為に瑕疵があるのではないかと考える。落札決定時に入札参加資格が停止されていたわけではないにもかかわらず契約を保留したこと、また、再入札となれば工事が半年程度遅れることに加え、余分に経費が必要となることを踏まえ、下水道企業会計負担金として財政担当部局も関係することから、市全体として手法について考えるべきであるとの意見がありました。

### 教育民生分科会

- ◆ 生活保護適正化等事業費について、委員からは、本市の生活保護世帯のうち、今回の生活保護基準の見直しに伴い、受給額が減額となる世帯数ほどの程度かとの質疑に対し、担当部局からは、国や県から詳細な見直し基準が示されていないため把握できないが、厚生労働省によると全国では67%の世帯が減額になると見込んでいるとの回答がありました。これを受けて委員からは、今後、受給額が減額となる世帯からの問い合わせの増加が見込まれることから、生活保護のケースワーカーによる丁寧な説明を行い、十分な理解を得ていくようにしてほしいとの意見がありました。
- ◆ 神前地区の認定こども園化について、委員からは、今後、基本設計を行うことにより、工事期間中の園児の安全を心配する保護者の声に対し詳細な説明が可能になることから、より一層の丁寧な説明をしていく必要があるのではないかと質疑に対し、担当部局から

は、園児への必要な配慮については、地域や保護者等の意見を聴き取って進めていきたい。また、約2カ年の工事期間を予定しているが、園児にできる限り影響を及ぼさないよう、いただいた意見を反映しながら事業を進めていきたいとの回答がありました。これを受けて委員からは、基本設計において工事期間の短縮といった検討も行い、園児への負担となる期間をできる限り短くするよう検討してほしいとの意見がありました。

### 産業生活分科会

- ◆ 一般コミュニティ助成事業に関する優先順位の考え方は、四日市市独自のものかとの質疑に対し、担当部局からは、四日市市において三重県に申請を出していく際の優先順位の付け方であり、四日市市独自の考え方であるとの回答がありました。また、他の委員からは、申請団体はこの基準を知った上で、1回ではなかなか採択されないの繰り返し申請しようという捉え方をしているのかとの質疑があり、担当部局からは、申請団体に対しては1回の申請では採択は難しいという説明は行っており、この基準に基づいて説明をしているとの回答がありました。

### 都市・環境分科会

- ◆ 管渠布設費（浜田通り貯留管築造工事）について、委員からは、市民に深く関わるものであるが、今回の契約保留により工事に遅れが生じた結果、被害が発生することも想定されるがどのように捉えているのかとの質疑に対し、担当部局からは、工期については、当初の予定の平成33年12月までから平成34年5月までに延長となるが、雨水による自然災害が生じやすい梅雨の時期までに完成させるよう努めていきたいとの回答がありました。

## 一般質問から

一般質問は、定例会議が開かれたときに、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめます。

6月定例会議会は、20人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をご紹介します。

質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット録画中継」または「会議録（次の8月定例会議会ごろに公開予定）」をご覧ください。

## 子育て支援

## あけぼの学園と途切れない支援の実態はどうか



公明党  
伊藤 修一

**議員** 来年4月に移転と開設40周年を迎える児童発達支援センターあけぼの学園は、保護者との通園が原則で、通園部には週5日通園を義務付けており、居宅訪問型児童発達支援(※1)の併用を認めるなど合理的配慮が必要ではないか。

**こども未来部長** 通園部の週5日通園は、週2日と週3日に選択肢を増やし、外出が困難な障害児の状態に応じて居宅訪問型を組み合わせた適切な支援を行い、土曜日の休日通園は、希望者の状況で2クラスから3クラスにしていく。

**議員** 18歳までを対象とした障害児・保護者訓練指導は、条例に基づく必須事業ではなく、年間5000回以上の個別支援(訓練)を行っているが、在園児には1人当たり年間5回だけであり、優先すべき事業を明確にすべきではないか。

**こども未来部長** 条例に基づく事業への移行に必要な障害児支援利用計画などの手続きを保護者に周知し、来年4月より順次移行していく。

**議員** 保育所等訪問支援は、利用までに6カ月近く待たされており、改善すべきではないか。

**こども未来部長** 職員体制を強化し、年1回の訪問支援を2回から3回に拡大していく。

**議員** 就学支援委員会を見直し、小学校就学後の教育や合理的配慮の検証ができ、保育所等訪問支援と連携できる制度が必要ではないか。

**教育長** 就学支援委員会を教育支援委員会に変更し、合理的配慮の事例や保育所等訪問支援の内容をデータベース(※2)で活用していく。



建設中のあけぼの学園(平成31年4月移転予定)

※1 各種障害者手帳の重度判定、または医療的ケア児や感染症のリスクが高い場合などで、かつ外出することが著しく困難な障害児を対象

※2 小中学校での合理的配慮の事例集「四日市版インクルDB(インクルーシブ教育システム構築支援データベース)」

## 教育支援

## 適応指導教室の充実を図れ



日本共産党  
豊田 祥司

**議員** 本市の小・中学校の不登校児童生徒発生率が全国平均より高い中、適応指導教室による支援の効果は大きいと考えるがどうか。

**教育長** 適応指導教室による支援の効果は大きく、平成29年度の実績では、小学生は全員が、中学生は8割近い生徒が、再登校や学校復帰を果たしている。そして、最も大きな効果は、中学校卒業後の進路保障にあると考えている。

**議員** 不登校児童生徒の相談を受け、適応指導教室につなげる上で、大きな役割を果たすセラピストの充実をさらに図るべきではないか。

**教育長** 専門的な視点からの相談やセラピーがますます重要となっており、教育委員会としてもセラピストの一層の充実を検討している。

**議員** 再登校や学校復帰の鍵を握る適応指導教室の利用率の向上に向けて、新たな拠点づくりも含めて、どのように取り組んでいくのか。

**教育長** 適応指導教室は市内に2カ所あり、公共交通の便も良く実績を積んでいる。このうち中央緑地内にある適応指導教室について、レイアウト改修工事を行い、相談室や学習室を増設することで利用率を向上させたい。

**議員** 保護者が安心して子どもを通わせることができる子どもたちの拠り所となる場所が必要であり、その拠り所となる適応指導教室が市内に複数あることは重要である。さまざまな事情で学校に通えない子どもたちが、次のステップへ進めるように支援が行われることを望む。

市営住宅

市営住宅のこれからを問う



日本共産党  
太田 紀子

**議員** 今後の高齢化社会では、車椅子の必要性が高くなる可能性があり、現在の市営住宅の活用を図っていくことを考えなくてはならない。例えば、笹川のUR（※1）賃貸住宅では、5階建ての団地の1階のベランダ部分全体にスロープ式の通路を付け、ベランダから出入りをすることで、車椅子での移動を可能とする取り組みが行われている。高齢化社会に向けて本市でも取り組む必要があると考えるがどうか。

**都市整備部長** 本市でも同様の対応ができないか検討を行っている。今後、それぞれの団地の敷地の配置、付帯設備の移設など建物の状況や特性を十分調査し、引き続き設置の可否を含め検討を進めていきたい。

※1 独立行政法人都市再生機構  
※2 刷新、改善、大規模改修

**議員** 居住者の高齢化等により、団地コミュニティ機能が低下し、自治会活動も低下している。団地コミュニティを再生するため、子育て世帯の入居促進の具体策について検討する必要がある。長野県の県営住宅では、子育て世帯が使いやすく、住みたくなる公営住宅としてリノベーション（※2）するための取り組みが進められている。本市でも、子育て世帯の入居促進の具体策を検討する必要があるのではないか。

**都市整備部長** 子育てしやすい間取りや設備等へのリノベーションには、一定のコストが必要になると考える。改修費用が上がることで供給戸数にも影響が出るため、先行事例も踏まえ、費用対効果を十分吟味し、研究していきたい。

医療費

糖尿病の重症化を予防し医療費を抑制せよ



公明党  
荒木 美幸

**議員** 国内の糖尿病を疑われる成人が推計で1000万人に上るとの調査結果もあり、医療費が大きな課題となっている。本市では平成27年度より糖尿病性腎症重症化予防事業を実施し、人工透析の手前の方たちへの保健指導につなげている。これまでの実績と今後の展開はどうか。

**健康福祉部長** 平成30年3月診療分診療報酬明細書を調査したところ、平成27年度から29年度に保健指導を終了した方で人工透析に移行した方はいなかった。今後も取り組みを進めるとともに、本市の医療や健診をとりまく状況も踏まえ、実施方法等の検討を進めていきたい。

**議員** 埼玉県が平成26年度から行っている糖尿病性腎症重症化予防対策は、より糖尿病早期

の人を対象としており受診勧奨の成果が出ている。昨年三重県が策定した糖尿病性腎症プログラムは、埼玉県よりも間口を広げた内容であり、重傷化予防が期待できる。また、成果が出れば保険者努力制度の加点につながり保険料の負担軽減も期待される。本市でも三重県のプログラムに準じて取り組みをすべきと考えるがどうか。

**健康福祉部長** 本市では、今年度から空腹時血糖とヘモグロビンA1cの検査の両方を行うことで糖尿病の検査精度を上げるといった環境整備に着手している。今後は、埼玉県等の先進地事例も参考にしながら、三重県版プログラムを基本に地域の医療関係者と連携し、本市の実状にあった取り組みを進めていきたい。

通学路

子どもたちが安心して通学できる環境づくりを



公明党  
山口 智也

**議員** 本市は四日市市通学路交通安全プログラム（※）に基づき、関係機関が通学路の合同点検等を実施し、ホームページで公開しているが、対策状況が分かりにくい。対策の進捗を積極的に市民に発信するとともに、通学路交通安全施設整備事業も周知し、通学路の安全対策事業の全体像が分かるようにすべきではないか。

**教育長** 四日市市通学路交通安全推進会議でも公表のあり方の意見が出され、対策状況や対策後の効果・検証等を明らかにした公表方法を検討している。また、通学路交通安全施設整備事業の実施状況は四日市市学校教育白書やホームページで公表しているが、市民に対策の全体像をご理解いただくために、四日市市通学路交

通安全プログラムとともに公表していきたい。

**議員** 地域関係者との情報共有を強化するための取り組み状況についてはどうか。

**教育長** 市内の全小・中学校が地域関係者と連携し、いただいた意見を通学路交通安全施設整備事業に反映している。中にはコミュニティスクール運営協議会等と連携している先進事例もあり、今後も地域との連携を働きかけていく。

**議員** 毎年行われている通学路安全点検の要点をまとめたチェックシートを作成し、保護者にも検証しやすい仕組みを検討してはどうか。

**教育長** 学校安全充実のための手引きを基に保護者にも使いやすいチェックシートを作成し、防犯の観点も含めて検証できるようにしていく。

※ 平成26年7月に、四日市市通学路交通安全推進会議において、取りまとめられた通学路の安全確保に関する取り組みの方針

## 公園・遊休農地

## ヤギ放牧を活用して本市をアピールせよ

政友クラブ  
伊藤 嗣也

**議員** 菰野町では遊休農地の除草にヤギを活用している。遊休農地は有害鳥獣のすみかになるなどの問題の原因となり、対応が必要である。また、市内には草が生え放題となり人の寄り付かない街区公園(※)があるが、そこへヤギを放牧すれば、除草だけでなく心癒やされる風景に引かれて人々が集まり公園が再び利用されるのではないかと。公園や遊休農地でのヤギ放牧の姿が本市の名物となることは本市の優しさ、癒やしをアピールする資源となると考えるがどうか。

**都市整備部長** ヤギの放牧の実施は、放牧先の環境や輸送等の問題はあるが、本市の魅力向上、市民への癒やしの提供にもつながる。地域の期待や効果なども踏まえ、場所を検討し、現

※ 歩いて利用する近隣住民を対象とした比較的小さな公園

行の小動物園のヤギを活用した移動動物園のようなモデル的な取り組みを実施したい。

**商工農水部長** ヤギを使った除草は農地の適切な管理として有効だと考えるが、実施に当たっては柵や飼育小屋の設置などの問題があるため、地権者から要望があれば相談に乗りたい。

**議員** 南部丘陵公園のヤギを含む小動物は、本市の財産ではなく、委託している事業者の所有物である。本市全域でヤギの活用を進めるに当たり、見直しが必要だと考えるがどうか。

**都市整備部長** 動物自体を市が所有し、管理することはコストの増大や施設面で難しい。

**議員** ヤギのエサ代など全額市が補っている状況である。契約見直しの検討を強く要望する。

## 学習支援

## 放課後子ども教室を全市的に拡充できないか

政友クラブ  
萩須 智之

**議員** 本市の放課後子ども教室の例として、西笹川中学校区の笹川子ども教室を視察した。この地区の外国人や教育環境が整わない子どもたちを対象とし、教員OBや大学生ボランティア等で学習支援を行っている。本事業は国と県の補助金で運営しているが、補助金が支給されなくなった場合、市独自で継続発展させる考えはあるのか。また、指導者確保のために教員OB会等の人材バンクのような仕組みをつくり、本事業を全市的に拡充することはできないか。

**教育長** 本市の児童生徒に対する放課後等の学習支援は、平成31年度までの県補助事業の学校支援地域本部推進事業であり、本事業の有効性に鑑み、今後も子どもたちへの支援が途切れ

ることがないように、三重県に対し事業の継続を強く要望していく。また、本事業を全市的に広げていくためには、子どもの教育に熱意や理解のある地域の方々の参加が重要であり、地域と学校が連携・協働しての体制づくりを丁寧に進める必要がある。さらに指導者の安定的かつ継続的な確保については、今後も継続して各々の地域の組織体制を強化して人材確保を図り、持続可能なものとなるよう努力していく。

**議員** 一定の学力を身につけることで、就業の機会が増えることになる。放課後子ども教室は未来への投資であり、教育環境格差の是正の観点からも有益である。子どもたちがより良い環境で就労できるよう市内での普及を強く望む。

## スポーツ

## 小・中学校のグラウンドに照明を設置せよ

政友クラブ  
中村 久雄

**議員** 身近なスポーツ活動の場を充実させるため、公立小・中学校グラウンドの夜間照明設備の整備状況ならびに考え方を確認したい。

**スポーツ・国体推進部長** 第3次四日市市スポーツ推進基本計画において、学校施設開放の充実を図るための施策として、小・中学校グラウンドへの夜間照明設備設置に向けた検討をしていくこととしており、グラウンドの夜間の利用時間拡大により、地域スポーツの振興が図れると考えている。利用者ニーズについては、60校中25校において照明設備の設置を希望する団体があったが、照明のまぶしさや活動による騒音、駐車場の確保など整理すべき課題もある。立地環境からみて4、5校程度具体化に向けた

取り組みが可能と考えているが、設置対象校の選定や順序については、より多くのニーズを把握した上で慎重に考える必要があり、引き続き検討を進めていきたい。

**議員** 身近な活動の場を整備することは、スポーツをやりたいと思っても、経済的な理由や活動の場が遠いといった理由で諦めてしまう子どもを減らすことにつながる。また、民間企業のグラウンドが企業活動の再編等により減少する中、目的税である事業所税を活用してナイター設備を有するスポーツ施設を充実させることは、企業にとって有意義であることに加え、従業員が住居選定する際のポイントにもなり得る。可能な限り速やかに整備を進めてほしい。

## 救命

# AEDが活用しやすい環境を整備せよ



救友クラブ  
森 康哲

**議員** 救命講習の中で、市民からAEDの設置場所を聞かれることがあるとのことだが、設置場所のマップがあると大変分かりやすいと考える。スーパーや銀行、病院など公共性の高い施設のAED設置場所マップは作成できないか。

**消防長** 現在、消防本部のホームページで市の公共施設のAED設置場所を公表するとともに、日本救急医療財団が運営する全国AEDマップにより、設置場所の情報提供を行っている。今後は、救命講習時に配布するパンフレット等に全国AEDマップのアプリのQRコードを掲載するなど広く広報を行っていききたい。

**議員** 市内の公共施設に219台あるAEDは、休日・夜間には使用しづらい状態である。学校に設置されているAEDについてはどうか。

**スポーツ・国体推進部長** 学校開放事業により、休日・夜間等校舎が施錠されている時間帯に学校を利用している方たちが使用できるよう、今年度、市立小・中学校において校舎内にあるAEDを外に設置するボックスを配備する予算

が認められている。今後、具体的な設置場所などの調整を行い、今年度内の設置に向けて取り組みを進めるとともに、学校施設開放運営委員会などを通じて利用者に周知し、緊急時に活用してもらいたいと考えている。

**議員** 教育の現場だけでなく、市民にとって認知度の高い地区市民センターについても、AEDの屋外設置について今後検討してほしい。



屋外に設置されているAED(イメージ)

## 高齢者施策

# 今こそ、高齢者施策に力をいれよ！



新風創志会  
谷口 周司

**議員** 第7次四日市市介護保険事業計画・第8次四日市市高齢者福祉計画の基本理念には、市民が支え合い健康で自分らしく暮らせるまちとあるが、現実には、元気な高齢者が支援を必要としている高齢者を支えている。支える側である元気な高齢者を増やすための取り組みが必要であると考えますがどうか。

**健康福祉部長** 高齢者の介護予防については、一般的におおむね週1回以上の継続的な運動が効果的であるといわれているが、本市では、身近な地域で継続的に取り組めるよう、ふれあいいきいきサロンや介護予防自主活動グループなど住民主体の集いの場の育成を進めている。

**議員** 高齢者が公共交通を利用し、今以上に気軽に外出ができれば、健康増進に役立つのではないかと。今後、公共交通の利用を促進し、元気な高齢者を増やしていくためにはシルバーパス(※)の導入が一つの解決策となると考えるが、本市の見解はどうか。

**都市整備部長** シルバーパス制度の導入につ

※ 高齢者向けに発行される、バスなどの公共交通機関の割引券

いては、費用対効果の面から難しいと考えているが、市民や交通事業者、行政など市内の交通に関わる関係者が一堂に会する四日市市都市総合交通戦略協議会において、関係者と情報交換しながら、高齢者にとって移動しやすい環境づくりに、共に取り組んでいきたいと考えている。

**議員** 元気な高齢者を増やすという視点での、今後の施策展開に期待する。



高齢者が利用しやすい公共交通の整備が求められる

## 教育環境

## 少女の心を踏み躪り、住民の声を黙殺する森市長

政友クラブ  
三平 一良

**議員** 大矢知地区住民の大矢知興譲小学校改築計画に反対をする声は増えている。14,588名の署名を添えて市長に反対の声明を出し、38単位自治会長全ての方が反対の意思を示しているが、市はどのような認識なのか。

**教育長** 小学校の改築を進めるには、保護者や地域住民の理解と協力が不可欠であることから、保護者への説明や意見交換、地域への働きかけを継続して行き、多くの方に改築内容に理解をいただくよう努めていきたい。

**議員** 署名を提出した方々に対し、市長は、地域の声を無視するわけではなく、より良い解決を図りたい。情報を共有してより良い方向へ導いていきたい。今後も協議の場を設けたい、

とコメントをしているが、協議をすることなく事業を進めようとするのは不誠実ではないのか。

**市長** 解決を図らなければならない一番の課題は、平成34年度に普通教室が不足することであるため、2月定例会月議会に改築事業の予算を上程した。大きな方針は変えられないが、子どもたちのため、普通教室不足の解消にあたるという行政の責務を果たしながら、地域住民の方々の声を聞いていきたいと思っている。

**議員** 地区の大切な財産について、自治会長全員が反対している事業を進めることは、全国的にも類を見ない。100年の禍根を残すことになるし、市長は民主主義の冒涇者<sup>ぼうとく</sup>として、悪政者として後世まで語り継がれることであろう。

## 国際交流

## 市民・企業が世界に羽ばたく国際政策を

新風創志会  
平野 貴之

**議員** 本市の進める国際経済交流政策は、企業の海外進出検討のプロセスと合致していない。より多くの海外の都市事情を把握し、企業に情報提供するとともに、国際機関や相手方行政等につなぐ支援を行う方が実情に即していると考えが、今後はどのように取り組んでいくのか。

**副市長** 本市は、市内中小企業の海外展開への支援が、企業の経営基盤強化や人材の蓄積につながるという考えのもと、戦略的姉妹都市提携の取り組みを進めているが、覚書を締結したハイフォン市以外へ企業が進出を検討する場合も、これまでに培った人的ネットワーク等を駆使して対応していく。また、新たな交流先については、都市に限らず、国レベルの投資受入機

関にも視野を広げていきたい。

**議員** 本市は2年後に迫った東京オリンピックのカナダ体操選手団のホストタウンとなっているが、他自治体の成功事例のように、当事業を契機にして、スポーツだけでなく市民の文化的交流や企業間の経済交流に結び付けていくべきと考える。市全体で盛り上げられるよう、部局横断的に取り組むべきではないか。

**スポーツ・国体推進部長** ホストタウン事業を通じて、市民のスポーツへの情熱が高まることを期待しており、カナダ体操選手団と子どもたちとの交流など、幅広い交流に向けた取り組みを考えている。その他の事業についても、参加者の心に残るよう、内容の充実に努めていく。

## 教育環境

## 安全な通学路の実現に向け、安全対策を徹底せよ

新風創志会  
三木 隆

**議員** 大阪府北部地震のコンクリートブロック塀倒壊事故と同様の危険が本市にはないのか。

**教育長** 市内の小中学校60校で現地確認を行い、事故と同様の事例はなかった。6校で鉄筋コンクリート壁が設置されていたが、倒壊の恐れが低いことを確認した。また、学校周辺にコンクリートブロック塀がある学校については、調査結果を待ち、必要に応じて対策を講じる。

**議員** 通学路は誰が決定し、その通学路の安全対策に対する責任を負うのは誰になるのか。

**教育長** 通学路は通学の安全の確保と教育的環境維持のため、学校が設定するが、登下校時の安全確保の責任は保護者が負うことになる。問題の発生が予見される場合に学校は未然防止

措置が求められるため、保護者や地域と連携し、学校が主体的に指導することが必要である。

**議員** 通学路の安全を確保するため、市はどのような取り組みを行っているのか。また、八郷地区の自治会等から通学路の危険が指摘されているが安全対策への取り組みはどうか。

**都市整備部長** 四日市市通学路交通安全プログラム（以下、プログラム）（※）に基づき対策を講じており、羽津用水沿いの道路についてはプログラムに位置付け、国の交付金を活用しながら転落防止柵を整備していきたい。また、交通量の多い道路は、公安委員会に車の速度規制の要望を行い、回答を待っている状況である。

**議員** 市内全域での通学路の安全対策を望む。

※ 平成26年7月に、四日市市通学路交通安全推進会議において、取りまとめられた通学路の安全確保に関する取り組みの方針

市政全般

期待に応える政治～10の提言～



新風創志会  
諸岡 寛

**議員** 本市は先人達の努力により、豊かな生活環境を確保できているが、議場にいる我々もまた、絶え間ない努力が求められる。本市に今必要なことは何かという視点で、第1次産業の保護育成、企業の設備投資・新規事業への支援、地元企業の育成と企業誘致、土木要望予算の配分見直し、デマンド交通の導入推進、24時間訪問介護システムの充実、住民主体型サービスの充実、核家族かつ共稼ぎ世帯の子育て支援、中学校給食の早期実現について、市の考えを問う。

**商工農水部長** 儲かる農業に向け、経営感覚に優れた農家を育成する。企業へは、各種制度により、新規事業や設備投資の支援を行う。

**総務部長** 総合評価方式の入札時の評価項目

に地域要件を設け、地元優先の発注を行う等、地元企業の育成に努めている。

**都市整備部長** 土木要望の現行制度には肯定的な意見が多いため、見直しは考えていない。また、タクシーを使ったデマンド交通の社会実験を実施しており、引き続き検討を進めたい。

**健康福祉部長** 24時間訪問介護システムについては介護保険事業計画に基づき整備を進める。また、住民主体型サービスについては、今後も地域の取り組みを支援していきたい。

**子ども未来部長** 女性の社会進出が進む中、共働き世帯のニーズに応じた施策を進める。

**副教育長** 中学校給食についてはセンター方式により、早期実現に向けて全力で取り組む。

ご当地ナンバー

四日市ナンバーに住民の理解はあるのか



リベラル21  
森川 慎

**議員** 平成29年11月に唐突に四日市ナンバープレートの導入決定が発表されたが、市民に対して十分に周知できておらず、三重ナンバーが選択できなくなる等の情報も正しく伝わっていない。そもそも、国土交通省の示す地方版図柄入りナンバープレート導入要綱によると、地域住民の合意形成が図られていることが条件となっているが、市民の意向は把握できているのか。

**シティプロモーション部長** 本市は平成4年頃から四日市ナンバー導入に向け取り組んでいる。平成17年度の市民向けアンケートでも賛成が約7割であった。また、今回の導入に向け四日市市商工会議所や四日市市自治会連合会から要望書等が寄せられた。これらを踏まえて申請

を行い、国においても導入が認められたことから、合意形成が図られていると判断している。

**議員** 一部の意見や10年以上前のアンケート結果を合意形成の根拠とし、強引に四日市ナンバー導入を進める行政運営には疑問がある。他自治体では7割以上の賛成があったにも関わらず、一部の反対意見を重く受けとめ、課題整理を優先して導入を見送った事例もある。まずはいったん立ち止まり、しっかりと住民の理解を得る努力をするべきではないか。

**シティプロモーション部長** 四日市ナンバーの導入は、本市としての平成4年以来の悲願であり、丁寧な情報発信に努め、市民の理解を得られるように取り組みを進めていきたい。

スポーツ施策

多様化するニーズに合わせ競技場を誘致せよ



リベラル21  
藤田 真信

**議員** 本市における自転車競技といえば、四日市競輪、四日市サイクルスポーツフェスティバルが挙げられるが、自転車競技にはさまざまな種目があり競技の多様化が進んでいる。東京オリンピック・パラリンピックの正式種目になった自転車競技のBMX（※）は、小さい子どもから参加できる競技で、世界大会・国内大会も開催されている。2013年にニュージーランドで開催されたBMX世界選手権には市内在住の選手が出演しており、四日市市役所に表敬訪問もしている。本市でも伊坂ダムで練習することができるが、現在、正式な競技会場が東海地方にはない状況である。本市で、BMXの競技施設の整備に取り組んではどうか。

※ バイシクル・モトクロス

**スポーツ・国体推進部長** 本市のスポーツ施設については、平成27年3月に策定した四日市市スポーツ施設整備計画に基づき整備を進めており、平成33年の三重とこわか国体開催種目にあわせ4つの施設を新たに整備し、既存運動施設や設備の老朽化に対する改修を行っていくこととしている。BMXの競技施設の整備については、競技者数やニーズの高まり等の動向を注視し、さまざまな情報収集に努めていきたい。

**議員** 自治体間競争に打ち勝っていくためにも、周辺自治体や県にあるものを同じように整備していくのではなく、差別化を図っていくことが重要である。成功事例に学び、今後しっかりと検討してほしい。

## 高齢者施策

## 人生100年時代を生き生きと過ごせる対策を

無所属クラブ  
小林 博次

**議員** 高齢化が急速に進む中、人生100年時代を生き生きと過ごすために健康づくり対策や低所得層への対策が必要である。働く意欲のある高齢者が働ける場づくりが必要ではないか。

**健康福祉部長** 地域包括ケアシステムの総合事業である住民主体サービスでは、元気な高齢者がサービスの担い手となり、提供するサービスに応じた謝礼などの対価を得ながら活動している事例もある。市としては、引き続き住民主体サービスの育成に取り組んでいきたい。

**議員** 高齢者の貧困対策の一つの柱として、三世同居や近居を推進していく必要があると考える。家族間で支え合える三世同居や近居を支援する条例を策定してはどうか。

**市長** 条例制定は難しいが、まずはしっかりと現在取り組んでいる施策を進めていきたい。

**議員** 本市では、ハローワーク、三重県とともに高齢者就職面接会を開催しているが、仕事を探している高齢者の期待に応える内容になっていないと考えるが、実態はどうか。

**商工農水部長** 毎年、55歳以上の方を対象に開催しており、昨年度は、65歳以上の高齢者62人のうち12人が就職に結びついている。今年度も11月に開催を予定している。

**議員** 70歳以上の高齢者が働ける場を提供できる取り組みをもっと積極的に進めるべきである。これまでの取り組みも市民にしっかりと周知し、さらなる施策を検討すべきである。



高齢者の働く場づくりが求められる

## 公園整備

## 街区公園に新たな活用方法を

リベラル21  
樋口 龍馬

**議員** 夜間に公道で行われるスケートボードの練習を迷惑に感じる地域の方が見える一方で、スケートボードで素晴らしい成績を残す方がおり、スポーツ振興の観点では応援したい気持ちがある。若者が健全に楽しめる場所を提供する必要性を感じるが、本市のスポーツを推進する新部局として、施設を整備する考えはあるか。

**スポーツ・国体推進部長** 現在、国体に向けた施設整備を中心に進めているが、今後は国体開催種目以外の競技整備についても研究していく。スケートボードについては利用者ニーズの調査や安全対策等の検討が必要であり、民間スケートパークの紹介等も併せて行っていきたい。

**議員** 都市公園法の改正に伴い新たに設けられたPark-PFI（以下、制度）（※）を活用し、民間活力を利用して街区公園にスケートパークを整備できるのではないかと考える。また、この制度による整備や維持管理をお願いするにあたって、現在の行政の想定より枠を広げて考えれば、街区公園の新たな活用モデルとなるのではないかと考える。

**都市整備部長** 設置しようとする施設の規模に応じて公園にも一定の面積が求められるが、当制度の公募対象公園施設に運動施設も含まれることから、周辺の園路や広場等の公園整備を前提に、スケートパークの設置・運営も可能である。既存の公園を有効活用したいと考えており、さまざまな可能性もあるため、市民から具体的に提案があれば、前向きに検討したい。



街区公園の有効な活用が求められる

※ 公園利用者の利便の向上に資する施設を設置し、併せて周辺園路等の整備を行う者を公募により選定する制度

保 育

園児のおむつ持ち帰りを取り止めてはどうか



リベラル21  
村山 繁生

**議員** 本市の保育園で、おむつを持ち帰りとしているのはなぜか。

**こども未来部長** 0歳児から2歳児までの園児は、自分の体の状態等を第三者に伝えることが困難な年齢であるため、排便行為は、園児の健康状態を示す重要な項目の一つである。園児の体調が優れない場合には持ち帰ったおむつを確認してもらい、保護者によってはかかりつけの病院に持って行く場合もあると聞いている。

**議員** 体調に異常があれば、口頭や連絡帳で伝えることもできる。おむつの持ち帰りは、衛生面や感染対策上問題もあり、保育士の負担も大きいと考える。東京都の豊島区や渋谷区などの認可保育園では、業者へおむつの一括処理を

委託しており、市内の私立保育園でも、園で一括処理している所がある。本市の公立保育園でも業者による一括処理を導入すべきではないか。

**こども未来部長** おむつを園で処理する場合、収集されるまで園児の手の届かない状態で安全に保管することになる。便の確認は児童の健康管理にとって重要であるため、おむつの持ち帰りを継続したいが、持ち帰ることの意義についてあらためて保護者に周知したい。

**議員** 育児をする立場として、おむつの持ち帰りについて市長の考えはどうか。

**市長** 便の確認は児童の健康管理にとって重要であるが、全国的な動向も踏まえ、これから調査を進めていきたい。

一般質問をした議員と項目

(質問順)

- |       |  |
|-------|--|
| 豊田 祥司 | ◆小学校給食と食育と地産地消 ◆適応指導教室の拠点を増やせ  |
| 太田 紀子 | ◆市営住宅について(連帯保証人、市営住宅のこれから) ◆生活保護基準の見直しについて   |
| 荒木 美幸 | ◆糖尿病の重症化予防について ◆違いを力に変えるまちへ～性的少数者のアライ(支援者)になるう～  |
| 山口 智也 | ◆通学路安全対策について ◆災害見舞金制度の運用について   |
| 伊藤 修一 | ◆児童発達支援センター・あけぼの学園と途切れのない支援について  |
| 伊藤 嗣也 | ◆思い切った挑戦が、新たな価値を生む(ヤギ放牧による除草について、公共施設における便座について、災害時等の専用水道の活用について、水道検針時同時請求や包括委託について)                         |
| 荻須 智之 | ◆放課後子ども教室について ◆市内の農業をどう守る?(農家への交付金について、農地の宅地並み課税の影響は?、農家と都市農地の未来は?、水田の調整池としての働きについて)                         |
| 中村 久雄 | ◆安全・安心なまちを目指して～ドライブレコーダーを活用した犯罪抑止～ ◆身近なスポーツ活動の場を!～公立小中学校グラウンドのナイター設備～  |
| 小川 政人 | ◆東海豪雨時の十四川溢水訴訟の証拠書類の偽証と部下と市民を裏切り部下に偽証させる塚田博副市長   |
| 三平 一良 | ◆少女の心を踏み躪り、地域住民・保護者の声に背を向ける森智広市長(大矢知興讓小学校施設改悪基本構想に関して)   |
| 森 康哲  | ◆消防について(AEDの活用と今後の課題、南部・北部分署設置後の課題、楠地区消防分団一分団化に向けての進捗状況、通信指令センターの広域運用のその後について、ドローン実証実験の成果と今後の活用方法について)       |
| 平野 貴之 | ◆市民・企業が世界に羽ばたく国際政策を(企業が求める国際経済交流とは、チャンスを逃すな!五輪キャンプ～ホストタウン制度をフル活用して全市民に効果をもたらせ～)                              |
| 三木 隆  | ◆小学生の通学路の安全確保について(通学路の現状と課題について、課題の解決について)   |
| 谷口 周司 | ◆市制施行120周年記念事業について ◆今こそ高齢者施策の充実を!(本市の現状、今後の取り組み、シルバーパスの導入は…) ◆途切れのない子育て支援～四日市版ネウボラ～(子育て世代包括支援センター、不妊治療医療費助成) |
| 諸岡 覚  | ◆～期待に応える政治～生活、仕事、老後 -10の提言-  |
| 小林 博次 | ◆高齢者対策について ◆中心市街地の活性化について  |
| 森川 慎  | ◆ご当地ナンバー(四日市ナンバー)の導入について ◆「大矢知興讓小学校改築についての保護者アンケート」について  |
| 藤田 真信 | ◆大矢知興讓小学校改築整備事業について ◆子どもの貧困対策について ◆中学校給食について ◆自転車競技関連施設整備について  |
| 樋口 龍馬 | ◆まちづくりについて考える ◆東京オリンピックに向けた環境整備の一環 ◆四日市で実証実験を活用する  |
| 村山 繁生 | ◆子どもの貧困対策～現状と未来 ◆保育園におけるオムツの持ち帰りについて ◆竹粉事業のその後～バンブーサミットに向けて  |

## 議案に対するご意見について

重要な議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんに情報提供を行い、ご意見をいただいています。6月定例月議会で実施した主なご意見の概要は、次のとおりです。いただいた意見は全て市議会ホームページに掲載しています。

◆動産の取得について－委員会室の音響・映像機器の物品購入契約－（議案第19号） 1件  
〈意見〉市議会の傍聴に行くが、議場の傍聴席から聞くと、特に高齢者の声が聞きづらい。行政の答弁は議員の様な熱意のある話し方とは違うので、話し方を考えてほしい。議場における論戦とその臨場感に浸る感動が好きなので傍聴に行くが、テレビで見た方が良く聞こえるので、委員会室よりも議場の音響の整備をお願いしたい。

◆認定こども園整備事業費(補正予算)について 17件  
〈意見〉莫大な予算を投入して、今ある建物を取り壊し、新たな施設を建設しなければいけない理由を知りたい。なぜ、今の保育園・幼稚園の建物をそのまま使うのはダメなのか。工事期間中の園児の保育・幼児教育はどのように行うのか具体的に知りたい。  
〈意見〉こども園設計費が計上されるということだが、去年度開かれていたこども園検討会議は、今年度、幼稚園や保育園に声がかからず、保護者、保育現場、地域に不透明な形で進んでいるのではないか。何も知らされず、何の意見も言えず、行政が勝手にこども園を進めていないか。子どもを預ける親に

とって、そこで働く職員にとって、それを支えるための取り組みがなされているとは思えない。しっかりと情報を開示し、地域、保護者、職員に広く知らせ、承認をとり、共に進めていくべきと思う。保育体制、保育内容等の共有も全くできていない。設計や建設などハード面ではなく、ソフト面やその場にいる人のことを考えてほしい。設計に移る段階にはないと思うので、予算を付けないでほしい。

◆動産の取得について－四日市あすなろう鉄道線 鉄道車両（T車）－（議案第21号）及び製造請負契約の締結について－四日市あすなろう鉄道線 車両改造－（議案第22号） 2件  
〈意見〉この議案では、総額3億円もの税金を投入することになる。この3億円を回収するのに何年かかるのでしょうか。これまでの車両更新や駅舎改修など、四日市市が投入した費用は今回の費用を含めると10億円は超えるのではないか。まず、これまでに車両の新造、改造の費用、駅舎、あすなろう鉄道にかかった人件費など、四日市市があすなろう鉄道のためにいくら関与しているのかを市民に明らかにしてほしい。市民への義務であると思う。

8月定例月議会については、8月22日(水)に市議会ホームページ(<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>)に議案および議案資料を掲載し、9月5日(水)までご意見を募集する予定です。皆さんからのご意見をお待ちしています。

## 8月定例月議会の議会報告会の予定

8月定例月議会の議会報告会を10月9日、10日に開催します(詳細は下記参照)。事前のお申し込みは不要ですので、参加を希望する会場にどうぞお気軽にお越しください。

※シティ・ミーティングのテーマが決定しましたら、市議会ホームページやチラシ等でお知らせいたします。

※頂戴するご意見は口頭によるものを基本とします。

第1部：議会報告会		第2部：シティ・ミーティング（意見交換会）		
日時	平成30年10月9日(火)		平成30年10月10日(水)	
	18:30～20:45		18:30～20:45	
常任委員会	総務	教育民生	産業生活	都市・環境
会場	楠地区市民センター 3階301会議室	三重地区市民センター 別館大ホール	四郷地区市民センター 2階大会議室	海蔵地区市民センター 2階大会議室
	楠町北五味塚2060-72	東坂部町71-2	室山町645-1	大字東阿倉川622-1
所管事項	市政の企画、財務、 危機管理、消防など	教育、こども、 健康福祉など	商工業、農林水産業、 市民文化、市立病院、 シティプロモーションなど	道路、住宅、上下水道、 環境衛生、国体など

※全会場、手話通訳いたします(事前予約は不要です)。※天候等により中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。※進行状況によっては、記載された予定時刻よりも早く終わる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

※天候等により中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、開催3時間前に、大雨、暴風、大雪、津波のいずれかの警報が発表された場合、あるいは開始3時間前の時点で短時間のうちに各警報が発令される可能性が高いと認められる場合、また市域に震度4以上の地震が発生した場合は、開催を取り止めとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。なお、開催を取り止める場合は、市議会ホームページやフェイスブック等でお知らせいたします。

## 平成30年2月定例会議会の議会報告会の概要

平成30年2月定例会議会の議会報告会を、平成30年3月27日、28日に、常任委員会(総務、教育民生、産業生活、都市・環境)ごとに4会場で開催しました。

当日は第1部を議会報告会、第2部をシティ・ミーティング(意見交換会)として実施しました。議会報告会では、議員からの2月定例会議会での活動報告に対して質疑をいただき、また、シティ・ミーティングでは、常任委員会ごとに決められたテーマに関して意見をいただきました。

いただいたご意見については、市議会で周知を図り、今後の議会活動における一般質問や委員会での審査や、次回以降の議会報告会の開催に当たっての参考とさせていただきます。また、概要としてまとめたものを市議会ホームページに掲載しています。

日 時	平成30年3月27日(火)		平成30年3月28日(水)	
	18:30~20:45		18:30~20:45	
常任委員会	総 務	都市・環境	教育民生	産業生活
会 場	橋北交流会館 3階第6会議室	常磐地区市民センター 2階大会議室	四郷地区市民センター 2階大会議室	保々地区市民センター 2階会議室
シティ・ミーティング テーマ	○防災全般について	○交通施策について	○教育民生常任委員会の所管事項全般について	○市立四日市病院に期待する役割
参加人数	13人	10人	16人	38人

### ◆会場でいただいた意見・質疑 (抜粋)

議会報告会、シティ・ミーティングでは、市民の方から議会報告に関することや、シティ・ミーティングのテーマに沿って自由にご意見をいただき、意見交換を行っています。各会場での主な意見交換の内容を要約してご紹介します。

#### 総務常任委員会

- 首都圏におけるシティプロモーション事業について、費用対効果の検証は行っているのか。
  - ⇒委員) シティプロモーションの具体的な成果を数値として出すのは難しい面があるが、現在、首都圏での物産販売、観光大使によるシティプロモーション、三重テラスでのイベント等、さまざまな方法で本市のPRを行っており、今後も継続的に本市の魅力をもっとPRしていくことが本市のシティプロモーションにつながると考える。
  - ⇒委員) 首都圏でのイベントにおける来場者数や物産の売り上げについて確認しているが、費用対効果として検証することは難しいと考える。今後も本市の魅力をもっとPRしていく必要があると考えており、平成30年度より新たにシティプロモーション部が設置されるため、本市のさらなる魅力発信に期待している。
- 市内に設置されている海拔表示板について、市民の目に留まらず効果が薄いと感ずるため、設置数の増加やより目立つよう工夫すべきである。例えば、海拔メートル数ごとに色を分けて表示してはどうか。
  - ⇒委員) 例えば、地域や子どもたちで海拔表示板を作成し、自分の住む地域に設置することで予算をかけずに設置でき、さらに地域全体の防災意識向上につながるのではないかと考える。いただいたご意見は担当部局に伝え、今後の防災意識の向上につなげていきたい。
  - ⇒委員) 外出先で災害が発生する場合もあり、海拔表示は自分の命を守る行動指標となるため、その動機付けのためにも、色分けといった工夫はよいアイデアであると考えている。

## 教育民生常任委員会

- 学校の大規模改修においてもエレベーターは設置されないとのことだが、障害者差別解消法の施行に伴い、障害者当事者の意見を聞くなど、これまでとは視点を変えて取り組みを進めるべきである。  
⇒委員) 笹川中学校の建替えにおいては、障害者も乗れる構造のエレベーターを設置している。また、エレベーターのない学校においては、階段昇降機等で児童・生徒の昇降を支援しており、今後はさらに法の精神を生かした学校づくり・環境づくりが必要であると考えている。
- 公立幼稚園の教材費の無償化が新年度より行われるが、年度ごとに検証を行い、無駄が発生しないよう配慮してほしい。また、新たに配置される保育室のエアコンについても、扇風機を併用することで設定温度を下げるなど、費用を抑えるための工夫も必要である。
- 現在は、食の安全を考えられない大人が増えており、さまざまな病気も発生している。小学校や保育園が自校(自園)方式で給食を実施する中、それを引き継いだ食育を行うことが、思春期の中学生にとっては重要と考える。常に食の安全・安心を念頭に、センター方式での中学校給食実施から、徐々に自校方式へ転換していくべきではないか。

## 産業生活常任委員会

- 知り合いの医師は、本市出身であるが、名古屋大学の医学部を経て愛知県内の病院で研修、就職している。本市は、財政状況も好調であり、就職準備資金貸付制度などにより本市出身者を優遇し、本市の優秀な人材の流出を防ぐなど、積極的に医師の確保に努めるべきである。  
⇒委員) 医師はもちろんのことだが、医療従事者を確保することが重要であると考えている。また、高齢化社会の進展に伴い、介護士の不足も予想されており、人材の確保に加えて、人材の育成という点で、研修制度の充実なども重要となってくる。本市出身者を優遇することについても担当部局に伝え、検討していきたい。
- 市立四日市病院の収支について、以前は赤字であったが、黒字になった理由をどのように分析しているのか。  
⇒委員) 決算審査の中で、2年連続で黒字となったことが報告されている。主な要因として診療報酬の改定により収入が増加したことが挙げられるが、一方で薬品や医療器具の費用、人件費などの支出も増加しており、経営努力によって黒字を計上している状況である。  
⇒委員) 市立四日市病院は、急性期病院として入院時に退院までのスケジュールを示し、効率的な運営に努めている。一方で、早期に退院時期を示されることで不安に思う患者や家族がいることも考慮し、患者に寄り添った対応が必要であると考えている。

## 都市・環境常任委員会

- 平成30年4月より下水道使用料が改定され負担が増加するが、仮に全未接続世帯が下水道に接続したとすれば、使用料改定の必要はなかったのか。また、未接続世帯には、空き家も含まれているのか。  
⇒委員) 全世帯が公共下水道に接続していれば、使用料収入が増加して値上げをしなくても済んだと考えており、都市・環境常任委員会においてもそのような観点から議論を行っている。また、上下水道の契約をしている空き家についても未接続世帯に含まれていると判断される。
- バス停に屋根や電光掲示板がないため、高齢者や聴覚障害者が安心してバスの利用ができるように設置を検討してほしい。  
⇒委員) 屋根や電光掲示板の設置については、現在、近鉄四日市駅周辺整備基本構想においてバス乗り場の整備が計画されているため、バリアフリー化の考え方に含めて将来的に検討していくべき課題であると思う。

## 人事案件

### ●教育長

葛西 文雄（再任） 住所：桜町

## 意見書

- ◆旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書（提出先 内閣総理大臣ほか）

## 本会議・委員会のインターネット中継について

市議会本会議や常任委員会等については、インターネットによるライブ中継、録画配信を行います。市議会ホームページから、パソコン、スマートフォン、タブレットにてご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

ホームページのアドレス

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>

## 市議会モニターの委嘱式・研修会

平成30年度の市議会モニター(43人)への委嘱式を6月7日に行いました。  
モニターの皆さんには、市議会の運営に関する意見、



提言などをお願いしています。

また、7月19日には、市議会モニターの皆さんを対象に、議会運営等に関する研修会を開催しました。



## 8月定例会議会の予定

（日程は都合により変更する場合があります）

8/28(火)	初日	午前10時
9/4(火)	一般質問	午前10時
5(水)	一般質問	午前10時
6(木)	一般質問	午前10時
7(金)	一般質問	午前10時
10(月)	一般質問・追加議案説明・ 質疑・委員会付託	午前10時
11(火)	各常任委員会／予算、決算各分科会	午前10時
12(水)	各常任委員会／予算、決算各分科会	午前10時
13(木)	各常任委員会／予算、決算各分科会	午前10時
14(金)	各常任委員会／予算、決算各分科会	午前10時
18(火)	各常任委員会／予算、決算各分科会 (予備日)	
21(金)	決算常任委員会全体会	午前10時
25(火)	決算常任委員会全体会	午前10時

26(水)	決算常任委員会全体会	午前10時
27(木)	決算常任委員会全体会(予備日)	
28(金)	予算常任委員会全体会	午前10時
10/1(月)	予算常任委員会全体会(予備日)	
4(木)	最終日(委員長報告・採決)	午後1時

9(火)	議会報告会(総務、教育民生)	午後6時30分
10(水)	議会報告会(産業生活、都市・環境)	午後6時30分

※すでに終了している委員会は、9/18、27、10/1は開催しません。

※一般質問の模様をC T Y 122ch（サブチャンネル）で放送する予定です。

※本会議の模様は市議会のホームページで生中継し、その映像は、後日録画中継として配信します。

※各常任委員会の模様はYouTubeで生中継し、録画映像もご覧いただけます。市議会のホームページからご覧ください。

## あとがき

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。

**広報広聴委員会** (◎委員長 ○副委員長)

◎竹野 兼主 ○加藤 清助 太田 紀子 荻須 智之  
中川 雅晶 三木 隆 森川 慎

## ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市議会事務局

Tel 059-354-8340 Fax 059-354-8304

**Eメールアドレス** shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

**ホームページ** <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>